



町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

予期せぬ災害に備え自分たちでできることから

広安小学校区自主防災クラブが勉強会を開催

広安小学校区自主防災クラブ（橋本純平会長）が1月28日、同校で避難所運営などの勉強会を開催しました。

熊本地震後、広安小学校避難所開設時に、実際に避難所運営に携わったメンバーを中心として昨年11月27日に設立された同クラブ。一般的な地区単位ではなく、特に、熊本地震の経験を踏まえ、自主的な運営を目的として、避難所単位で組織されたところが特徴です。

今回は、災害時に避難所が開設された際、円滑な運営ができるよう、ワークショップを行い、レイアウトや食事

の提供方法などを確認しました。ワークショップでは、熊本大学の竹内裕希子准教授の指導により、熊本地震時の経験をもとに改めて当時の課題や問題点を洗い出し、改善方法などを検討しました。

また、兵庫県芦屋市で危機管理を担当する今石佳太氏を迎え、阪神・淡路大震災時の避難所運営とその後自主防災組織の設立状況など、防災先進地の事例も学びました。

橋本会長は、「この先、何かあるかわからない。行政に頼らず、自分たちでできることを増やしておきたい」と話し、会員たちも、予期せぬ災害の発生を想定し、真剣な表情で取り組んでいました。



(上) 竹内准教授の指導で課題や問題点を項目別に整理する会員ら
(右) 芦屋市の事例を紹介する今石氏
(下) 食事提供方法を実践で確認する会員ら



町政発展にいろいろな立場で貢献

福永充孝さんが、旭日単光章を受章

福永充孝さん（上町）が、永年の功績が認められ旭日単光章を受章。2月6日、西村町長から伝達されました。福永さんは、昭和62年から平成11年まで町議会議員として長らく地方自治の伸展に尽力し、その中で副議長を務めるなど議会運営にも携わりました。また保護司も務め、罪を犯した人たちや非行をした青少年の社会復帰などを支援しました。

受章について、福永さんは「周囲の方の協力があったからこそ受章です」と感謝の言葉を述べました。



表彰状を掲げる福永さん

Best Smile
今月のベスト笑顔

